

平成30年度 近畿ブロック地域包括ケア推進セミナー

～地域の力で創る「生活支援」～

2018(平成30)年12月13日

「参加の力」で高める「地域の力」

～新たな担い手が生まれるための
働きかけを探る～

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 前・代表理事(現・理事)

認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会 副代表理事

認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事

早瀬 昇



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

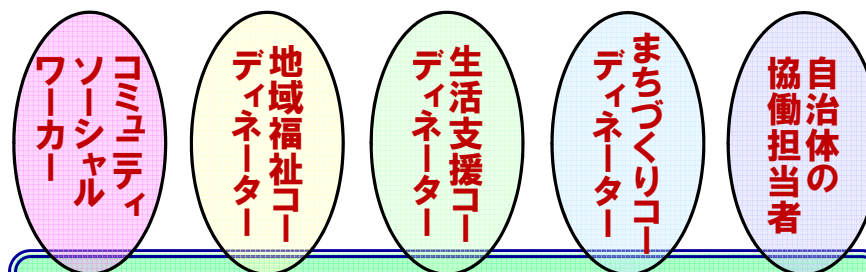
大阪ボランティア協会

1

ニーズを起点に「社会の宝」を活かし、解決策を創造する

ボランティアコーディネーターの立ち位置

※この人々に求められる共通の力は？⇒「市民の社会参加」促進



ボランティアコーディネーション力



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

2

※ ボランティアコーディネーションとは (1) ボランティアコーディネーションの定義

「一人ひとりが社会を構成する重要な一員であることを自覚し
主体的・自発的に
社会のさまざまな課題やテーマに取り組む」という
ボランティア活動(住民の自主的活動)の意義を認め、
その活動のプロセスで
多様な人や組織が、相互に**対等な関係**でつながり、
新たな力を生み出せるように**調整**することで、
一人ひとりが市民社会づくりに**参加**することを可能にする
働きである。

(日本ボランティアコーディネーター協会・JVCA)



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

3

(2) 「コーディネーション」という言葉の意味

【リーダーズ英和辞典】より

coordination **名詞** 同等(にすること)、対等(の関係)
＜作用・機能の＞調整、協調

coordinate **動詞** ①対等にする
②調整する、調和させる

coordinator **名詞** ①同格(対等)にする人
②整合(調整)する人

2つの意味 ①各々の要素を**対等(同格)**にする
②**調整**して**全体**の**調和**を生み出す

※単体では解決できず協力が不可欠な課題激増で多用



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association

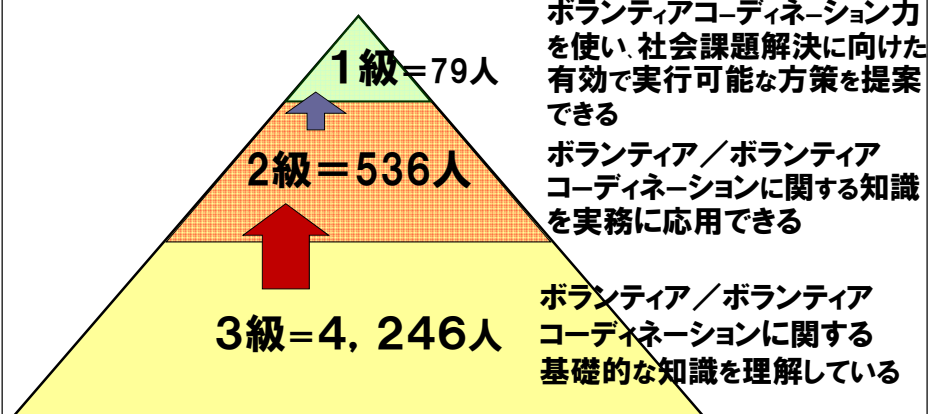


社会福祉法人

大阪ボランティア協会

4

(1)「ボランティアコーディネーション力検定システム」の全体像



★本日のお話の構成★

1. 「参加の力」が生み出す**素敵**な世界
2. ボランティア活動の**自由**なスタイル
3. 「参加の**威力**」: 自発的だからこそ**強み**
4. 「参加の**魅力**」: 「参加」で生まれる市民の**元気**
5. 仲間づくり、連携、つなぎ役…の必要性
6. 内側から「**やる気**」が高まるために

1. 「参加の力」が生み出す 素敵な世界



1. 最初は本棚だけの図書館!? ～「まちライブラリー」～

シェアビルド: ある出来事の実現に向け、多くの人が自主的に力を出し合い、生まれた成果を共有する

2008年、シェアビルドで本棚を作るところからスタート。「『メッセージをつけた本』を媒介にしたコミュニティ」として発展。全国600カ所以上で開設されている。

まちライブラリー@大阪府大は「0冊からスタートする みんなで育てるライブラリー」として2013年に開設。「植本祭」と銘打ったイベントで、みんなが、本を持ち寄り、テーマに沿った本棚を作っていき、今や蔵書数は9,000冊以上。

1. 最初は本棚だけの図書館!?

～「まちライブラリー」～



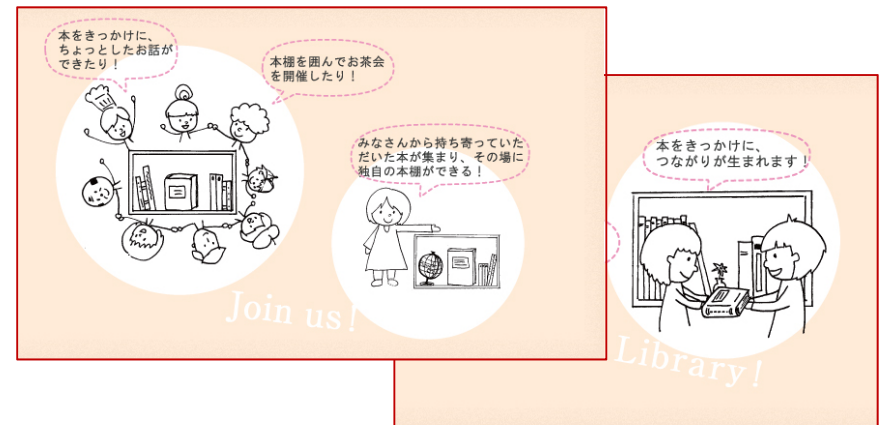
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 9

1. 最初は本棚だけの図書館!?

～「まちライブラリー」～



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 10

※ まちライブラリー@大阪府立大学



本の寄贈だけでなく、多彩なテーマでサロンやまち塾が開かれる



提唱者 磯井純充氏
(森記念財団啓発普及部長)



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 11

2. ボランティアがMSを凌駕!?

「Microsoft エンカルタ総合大百科」をご存知ですか?

マイクロソフトが1993年から発売(日本語版は1997年)。1000人強の専門家が有償で執筆に加わり、百科事典30冊分の情報を掲載。

約1万3千円。CD/DVDで販売(子供版付き)。しかし2009年に販売中止。なぜ?



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 17

2. ボランティアがマイクロソフトを 凌駕!? ~Wikipedia



2001年、Larry SangerとJimmy Walesの
2人の英国人が、英語版を創設。

2003年にWikimedia財団が設立され、システムの普及や
改善を進めている。掲載記事の新設・更新は世界中の
ボランティアが担う。財団の運営資金は**寄付**でまかなわれ
ており、2016年度の収入は約8,190万ドルに達している。

使用言語:291

掲載項目:約3,900万記事(日本語 **約110万記事**)



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 13

3. 観客15万人超のジャズイベントを 約千人のボランティアで企画運営 ~高槻ジャズストリート

高槻 JAZZ STREET



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 14

3. 観客15万人超のジャズイベントを 約千人のボランティアで企画運営 ~高槻ジャズストリート

1991年、「高槻の街を、明るく楽しい音楽溢れる素晴らしい
街にしよう」というジャズ好きの市民有志で立案。

市民ボランティアからなる「高槻ジャズストリート実行委員会」
によって運営。ベテランから高校生までフラットな会議運営
に加え、飛び入りボランティアも可能な仕組みを創造。

運営資金は、スポンサー協力、寄付・募金、Tシャツをはじめ
とするグッズや飲食ブースの売り上げでまかなう。

パンフレットや全会場への入場、演奏はすべて**無料**。



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 15

4. PTAが変わった!! ~役員の孤軍奮闘 ⇒ 皆で活動を楽しむ

ありがちなPTA

「“や”らないといけない」(義務感)

「“や”らされている」(強制感)

「“や”らない人がいる」(不公平感)

の「三本の“や”」

役員のなり手が見つからず、「推薦委員会」などを作り
“みんなの総意”で役員をお願いすることも、シバシバ

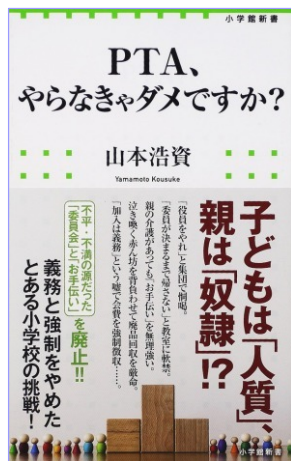


特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 16

4. PTAが変わった!!



東京都大田区立嶺町小学校のPTA
会長に、毎日新聞記者 山本浩資氏が
就任してからの大改革の物語

ピーター・ドラッカーの『マネジメント』を
参考に...

PTAをPTO(保護者と先生による楽しむ
学校応援団)に改称

(役員だけが汗をかきがちな)役員会を
「ボランティアセンター」に改組!

多彩な保護者がサポーターとして活躍
(多数の単発活動で参加のハードルを下げる)

※義務と強制やめ、ワクワク運営!!



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 17

5. 寄付で完成できた大ヒット映画!!



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 19

5. 寄付で完成できた大ヒット映画!!

片淵須直監督作品(この世の史代 原作)

・原作を元に、原爆で壊滅した街をアニメーションで再現
するため、当時を知る人々に協力を依頼(制作過程に参
加)。当時の街並みや人々の姿が現代に甦る。

・映画製作の出資企業募集のためのパイロットフィルム
(試験的な短い映像。約5分)作成費用を募るため、2015
年3月、2,000万円を目標にクラウドファンディング。
→8日15時間あまりで達成。最終的に全国の3,374人
から3,912万円を超える寄付

・2年以上、上映が継続中で、累計210万人以上が鑑
賞。



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 20

2. ボランティア活動 (住民の自主活動) の自由なスタイル

～ “重い・窮屈な” イメージを払拭し
「参加」のハードルを下げよう！

～ 「私」から始められる
“自由な” 活動を楽しんで
もらおう！



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



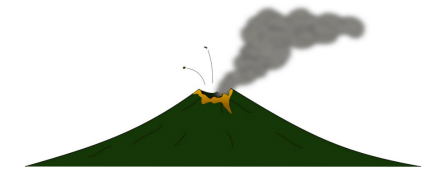
社会福祉法人
大阪ボランティア協会 21

1. ボランティアは「やいがい搾取」?!

(1) 「ボランティア」と似た言葉



volley ball



volcano

Volunteer と似ている！

フランス語で vol は 飛行



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 22

1. ボランティアは「やいがい搾取」?!

(2) WILLの活動 ボランティア

volunteer: volunte + er (人を示す接尾辞)



voluntas (ヴォルンタース (ラテン語) 自由意思)

語幹: ラテン語・volō (ヴォロ…と読みます)

⇒ 英語の will (喜んで～する) にあたる言葉

⇒ 「～したい！」と思って始める人、その行動



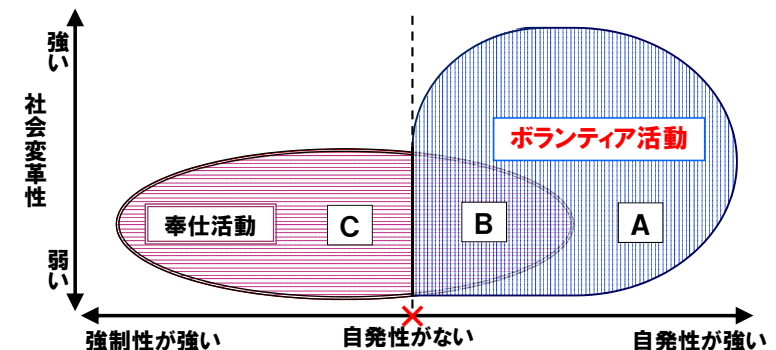
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 23

1. ボランティアは「やいがい搾取」?!

(2) 「ボランティア活動」と「奉仕活動」の違い



自発的でない活動はボランティア活動とは呼ばない



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 24

1. ボランティアは「やいがい搾取」?!

(3) どちらが、ボランティア的?

・健康のために、黙々と身体の中で**献身的に**動き続ける筋肉(不随意筋)⇒ **in**○○○○ muscle

・自分の思うように、動かせる筋肉(随意筋)
⇒ ○○○○ muscle

※「**自生植物**」は英語で ○○○○○(plants)

※ だから、**ボランティア**は(勝手気儘な)○○である!



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

25

1. ボランティアは「やいがい搾取」?!

(4) 「無償労働」とボランティアの違いは?

・「労働」≠働くこと。「労働」⇒○○○○関係

※ **ボランティア活動に不向きな「活用」**

・活用する→○○○ 派遣する→○○○○○する

(5) オリパラ・ボランティアが不興な理由

・アスリートへの共感は湧くけれど、
オリパラ組織委員会に○○○○○ない!!



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

66

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(1) ボランティアの堅いイメージの背景は?

ボランティアのカギは…

やる気(自発性)

世直し(社会性・公益性)

手弁当(無償性)

手弁当でも動くのは、我慢するからではなく

○○○○○○○○! から それに、
○○○○○○○○! から ○○○! から



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

27

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(2) テーマ、対象、ペースを選べる

お役所は「全体の奉仕者」。公平・平等が原則。
では、私たちは…

・何をするか? ⇒**選べない**と…

・どう、選ぶか? ⇒一番の鍵は○○なテーマ

※「**野鳥の会**」はあるけれど、「○○○の会」はない

ボランティア(自主的活動)は、○○にしないで良い!



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

28

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(3) 始めたら止められない…ことはない!

お役所では「朝令暮改」は禁忌。
始めたら、止められない。
では、私たちは…

・「細く長く」の本当の意味は？

⇒長く続けるため、派手さは避け、地道にコツコツ
⇒細くても良い。長く続けた方が楽しい、面白い!

・社会貢献活動を中断した企業を、どう評価？

—「慰労と感謝の表明」こそ、本来!!



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

29

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(4) 私を「開く」と「公共的」になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

- ・美術品のコレクションを公開すると
- ・会社の福利厚生施設を開放すると
- ・休日に子どもと遠足。近所の子も誘うと

※ 韓非子によると、「公」と「私」の由来は…

「公」: 厶(三方囲み)を開く。「私」: 禾(実った稲)を囲む

PUBの語源は public(誰にも開かれている) house



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

30

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(4) 私を「開く」と「公共的」になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

大坂の淀屋は、なぜ
「淀屋橋」を架けたのか?

自分のためでも、
みんなのためにもなれば
「公共的」になる



中之島と船場の間
淀川下流の土佐堀川
に架かる「淀屋橋」



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

31

2. ボランティア活動の自由なスタイル

(4) ボランティア活動は「恋愛」に似ている

- ① 自発的な無償(お金のためではない)の行為
- ② 対象を選べる
- ③ 好きであることが選択の重要な基準となる
- ④ 出会いは偶然によるところが多い
- ⑤ しんどいこともあるが自分自身も元気になる活動
- ⑥ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑦ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑧ 心移りをすることがある …

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

32

3. 「参加の力(威力編)」

～自発的だからこそ“強み”

【自負心が高まるために】



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

33

1. 自発的だからこそ強み

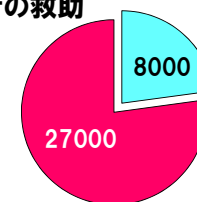
(1) 大震災で認知された市民活動の意義

～阪神・淡路大震災での体験から

多くの人々が家に閉じ込められた! 救ったのは?

・消防署? レスキュー隊? 実は近隣住民! (近助)

要救出者の救助



■ 警官、消防、
自衛隊が救出

警察、消防、自衛隊が
救出した方のうち、
約半数は死亡

■ 近隣住民等により救出

近隣住民等により救出された方のうち、
約8割が生存



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

34

1. 自発的だからこそ強み

(1) 大震災で認知された市民活動の意義

- ・全体に拘束されないから「機動的」
- ・それぞれの個性を活かすがゆえの「多彩さ」
⇒ “みんな違う” から気づけ築ける多様な課題と活動
- ・個々に応じることができるから「温かい」
⇒ “不公平にならざるを得ない” ことが強みに!
- ・自己責任で多彩な活動を「開発・創造」
- ・「状況から逃げない」と、「トラブルの拡大抑止」



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

35

※ そこで、市民と行政の「協働」論が活発化…

多様な市民などの公共サービス



行政による公平な公共サービス



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

36

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

存在として「当事者」である人(課題を抱える人々)

⇒対語:**第三者**的に傍観(他人事扱い)されやすい
・かわいそう、役所が悪い、私は関係ない…

行為により「当事者」になる人

⇒市民を「**当事者**」にしていく**市民活動**
自身で悩み工夫し解決する中で「**自分事**」に



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

37

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

課題と出会う

(誘われたから／お付き合いで……)



自分自身のあり方、関わり方を「問う」

(問題をどう受け止めれば良い？ 自分は関係ないのか？
将来の自分の問題ではないのか？ 自分が活かさないか…)



自分が関われば変えられる！…かもしれない…

(変える力が自分にある…かもしれない。よし、やろう！)



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

38

※ 市民が「参加」することの意義

『日本人は民主主義を捨てたがっているのか？』(想田和弘著)から

想田和弘さん



政治家は政治サービスの提供者で、主権者は投票と税金を対価にしたその消費者であると、政治家も主権者もイメージしている。そういう「**消費者民主主義**」とも呼ぶべき病が、日本の民主主義を蝕みつつあるのではないか。主権者が自らを政治サービスの消費者としてイメージすると、政治の主体であることをやめ、受け身になります。そして、「不完全なものは買わぬ」という態度になります。それが「賢い消費者」による「あるべき消費行動」だからです。

最近の選挙での低投票率は、「買いたい商品＝候補者がいないから投票しないのは当然」という態度だし、政治に無関心を決め込んでいるのは、『賢い消費者は、消費する価値のないつまらぬ分野に関心を払ったり時間を割いてはならない』という決意と努力の結果なのではないかと思うのです。



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

39

(3)「無償」の営みであることに積極的意味も

① **仲間・同志の関係**を築きやすい

～「**ギブ&テイク**」の関係を越えたつながり

※「雇用主vs労働者」「債権者vs債務者」という対抗関係になりにくい

② 金の切れ目が縁の切れ目…にならない「**絆**」関係

③ 金銭的尺度での**評価**を避けられる

～「**価格づけ**」による評価や比較がなされない

④ 自己利益を超えた**共感性の高い発信**ができる

～「**私欲がない**」行為ゆえの発信力・共感力・調整力

※ **お金がからむ寄付集めや利害調整などでは、特に重要！**



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



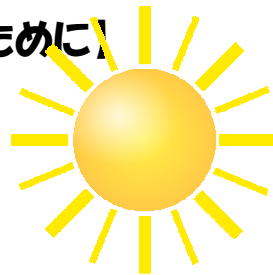
社会福祉法人

大阪ボランティア協会

40

4. 「参加の力(魅力編)」

～「参加」で生まれる
市民の元気
【活動意欲が高まるために】



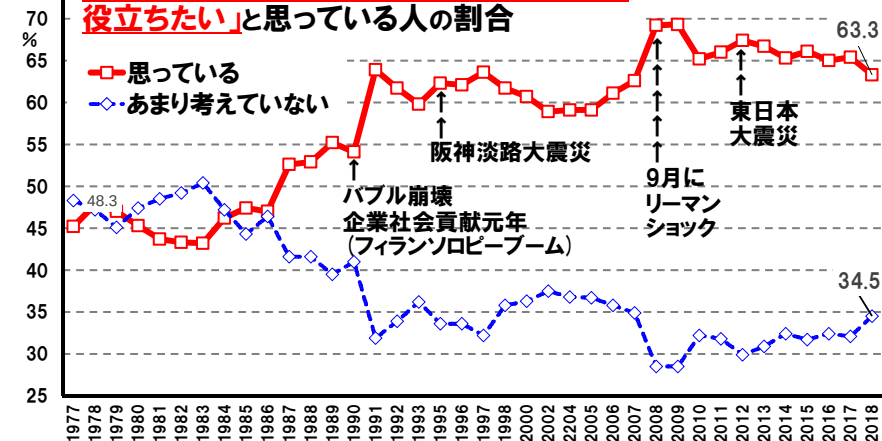
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 41

1. 人々には社会に貢献したい意欲がある

「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っている人の割合

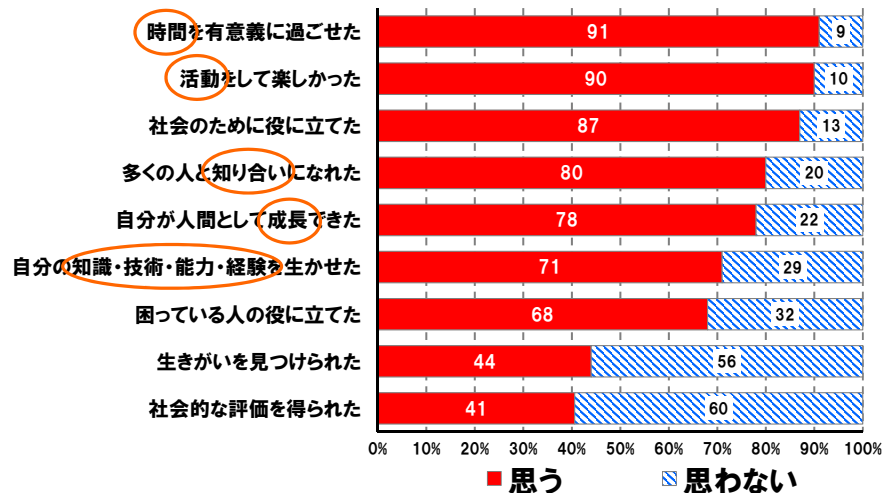


内閣府「社会意識に関する世論調査」
から(年数は調査年度)



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 42

※ ボランティアも活動で「メリット」を得られる



(出典)経済広報センター「ボランティア活動
に関する意識実態調査報告書」2011年



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 43

2. 活動する人自身も、元気になる

～ 人口構成は、どう変化するか

	2015年	2020年		2025年	
総人口	1億2,660万	1億2,410万	△250万 △2.0%	1億2,066万	△594万 △4.7%
0～14歳	1,583万	1,457万	△126万 △8.0%	1,324万	△259万 △16.3%
15～64歳	7,682万	7,341万	△341万 △4.4%	7,085万	△597万 △7.8%
65歳～	3,395万	3,612万	217万 6.4%	3,657万	262万 7.7%
65～74歳	1,749万	1,733万	△16万 △0.9%	1,479万	△271万 △15.5%
75歳～	1,649万	1,879万	233万 14.2%	2,179万	533万 32.4%

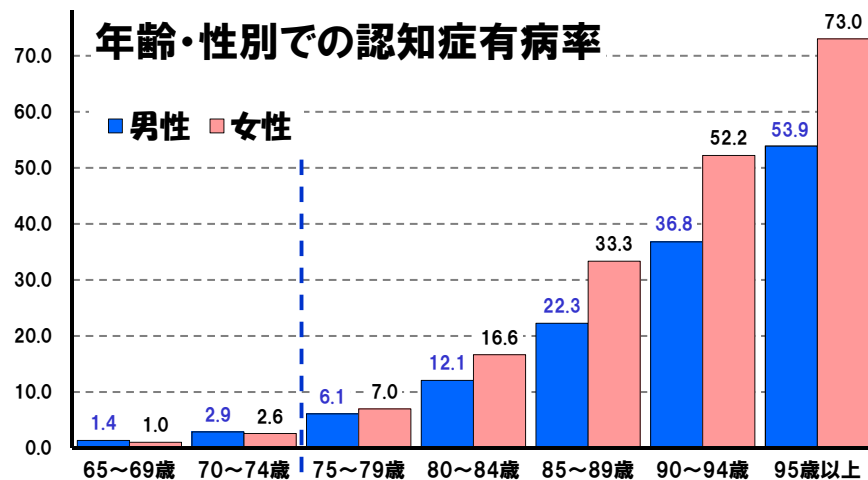
国立社会保障・人口問題研究所による推計



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 44

2. 活動する人自身も、元気になる

年齢・性別での認知症有病率



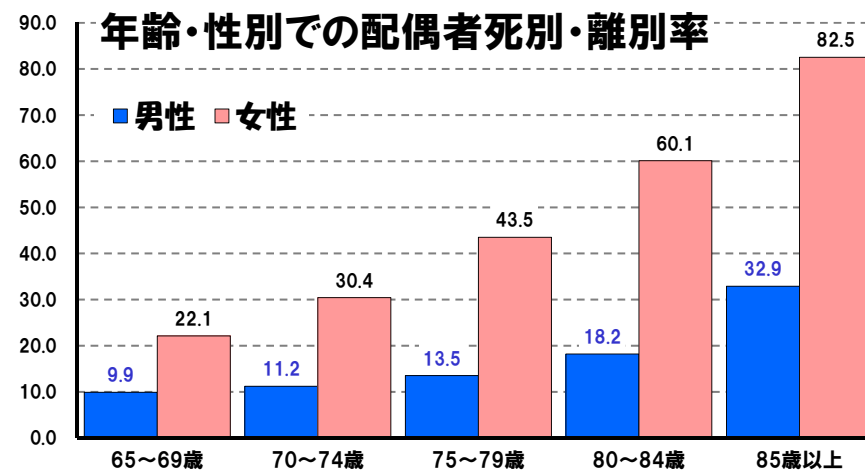
東京都健康長寿医療センター
の報告書(2014年3月)から



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 45

2. 活動する人自身も、元気になる

年齢・性別での配偶者死別・離別率



国勢調査
(2015年)から



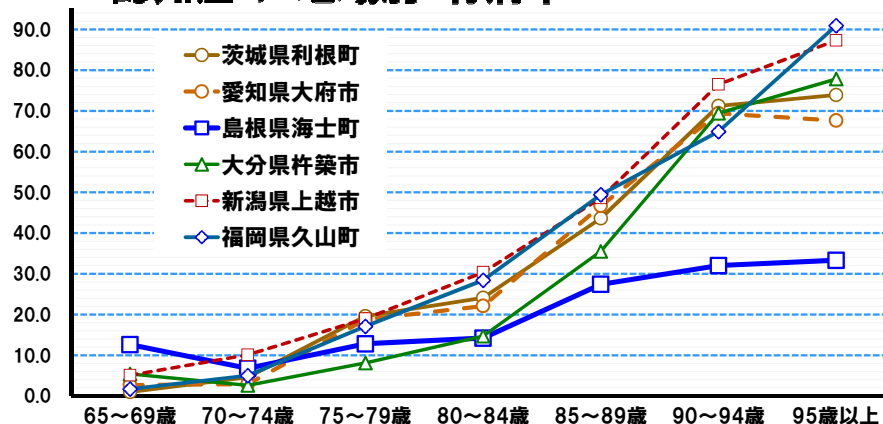
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 46

2. 活動する人自身も、元気になる

認知症の“地域別”有病率



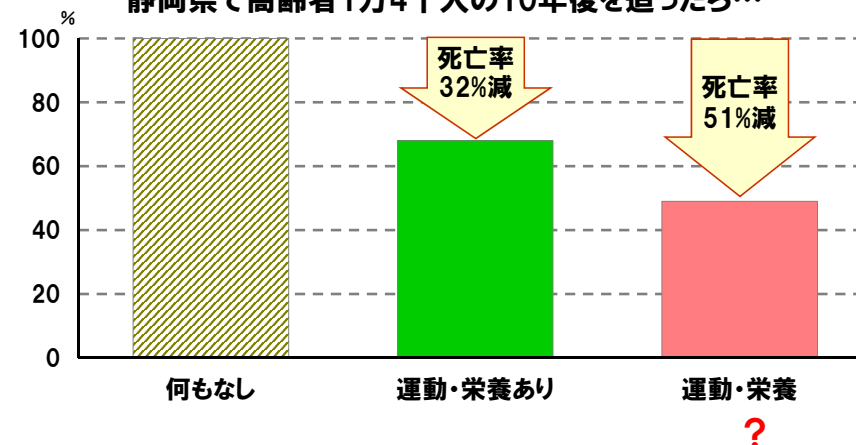
総合研究報告書「都市部における認知症
有病率と認知症の生活機能障害への対
応」(2013)から



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 47

2. 活動する人自身も、元気になる

静岡県で高齢者1万4千人の10年後を追ったら…



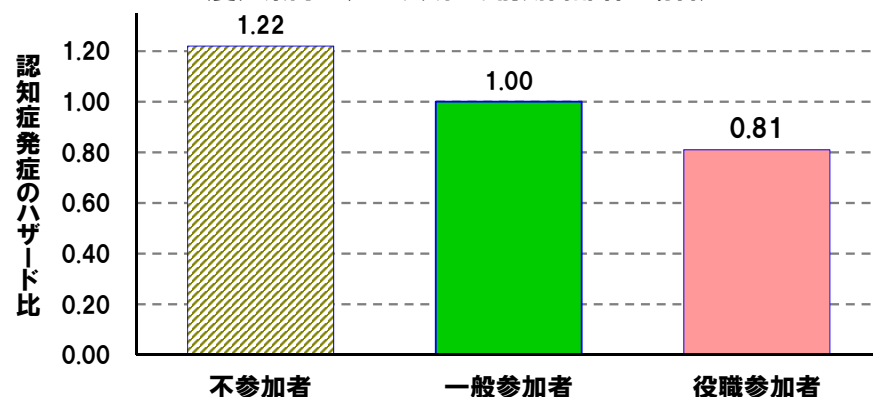
「静岡県高齢者コホート調査に基づく運動・
栄養・社会参加の死亡に対する影響につ
いて」(第58回 東海公衆衛生学会)



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 48

2. 活動する人自身も、元気になる

地域活動の参加状況と認知症発症率の関係
(愛知県内13,850人調査。前期高齢者の場合)



An additive effect of leading role in the organization between social participation and dementia onset among Japanese older adults: the AGES cohort study
(Geriatrics: Boston Medical Center 2017 根本裕太他)



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 49

ひとを救うもの

岡 知史(上智大学 社会福祉学科 教授)

ぼくはいま社会福祉を自分の仕事としているのだが、そのきっかけは、大学生のとき、夕刊に載った小さなある新聞記事を読み、ボランティア活動をはじめたことだった。

その記事は、ひとり娘に嫁がれてしまい、ひとり家に残された父親が淋しさのあまり自殺したことを伝えていた。

いまでも忘れられない。もう9年も前のことなのだが、その記事の見出しさえ、はっきりと覚えている。「孤独苦に自殺」とあった。「ああ、人間は孤独によって死ぬものなのだ。孤独苦というものがあり、それは人間を殺してしまうほどに強いものなのだ」と思った。

ぼくがそれまで考えていた「人間」とは、もっと強いものであった。「努力して、知識を得て、考え、訓練を受け、自分自身を高めていく存在」というイメージがあった。人間はひとりひとり独立して、競争しあい、自分をよりすばらしいものにしていくように努めていくものだと思っていた。

だが、その記事を読んだあと「そうではない」と気がついた。山の奥深くに岩があっても、その岩は雨や風や熱に長いあいだ晒(さら)されないかぎり崩れないものである。しかし、人間は、山の奥深くに独り

50

残されると、ぱっくりと内部から崩れてしまう。外から何の力を加えなくても、ぱっくりと二つに割れて壊れてしまう。人間というものは、それほど脆いものなのだ。

「孤独」ということだけで人間は死んでしまうのである。「孤独」によって死んでしまいそうな人間がいるとしたら、その人は、誰かが横にいるということだけで救われるのだろう。横にいて話を聞してくれる、横にいて自分に声をかけてくれる、横にいて顔をのぞきこんでくれる、そういうことだけで孤独な人間は救われるのである。

あの小さな新聞記事が、ぼくの人生を変えてしまうほどに大きな力を持ちえたのは、ぼく自身も孤独であったからだ。ぼくは、あの頃、ぼく自身を救うために、あらゆる本を読んでいた。人類の偉大な思想、偉大な科学、偉大な宗教が、ぼくを救うのだと思っていた。しかし、そうではなかった。

「孤独苦」で死んだ老人は、ぼく自身でもあったのだ。ぼくはそれほど孤独だった。しかし、それをどうしても認めたくなかった。「自分の周りに人がいない」というただそれだけのことで、自分がこれほど苦しんでいるとは信じたくなかった。人間はもっと強いものだと思っていた。自分自身を高め、磨き、大切にすることが何よりも大切だと信じていた。しかし、そうではなかったのだ。

51

人間は「独りにされる」というただそれだけのことで死んでしまう。昆虫は虫カゴの中にエサさえあれば何日も生きていけるのだろうが、人間はそういうものではないのである。

ぼくは、そう考えて、ボランティア活動を始めた。それは障害児の施設を訪問して子どもたちと遊ぶ活動だった。そしてある日、何をしていたかわからないままに、子どもたちが遊んでいるのを黙って座って見ていると、小学校2年生ぐらいの、ほとんど口のきけない、歩くのもとても不自由そうな男の子が、ぼくのところにやってきた。ぼくのひざに寄りかかるようにして座ると、そっとその手をぼくの手を重ねたのである。すると不思議なことに、ぼくの全身をおおい、ぼく自身を締めつけていた重い何かが風のように消えていった。

貪(むさぼ)るように読んだ哲学の思想も、宗教の教理も、心理学の理論も、ぼくを救わなかった。それなのに、こんな小さな子の、こんな小さな行為が、ぼくを一瞬にして救ってしまったのだ。

イエスが、荒野の果てに捨てられた病の人びとを、手を置くだけで救われたという話をぼくは信じている。ぼく自身もまた、手を置くだけで救われた人間のひとりだったのである。

(1988年11月<サロン・あべの>第29号掲載『知らされない愛について』所収) 52

5. 仲間づくり、連携、 つなぎ役…の必要性 ～「頑張る人ほど 疲れてしまう」問題



1. 自発的であるがゆえの弱点

(1)「基準がない」がゆえの「しんどさ」

自発的**活動**には、とても自由な面があるけれど…
(言われなくても、する！ 言われても **納得しない**と、○○○)

↓

ゆえに、ここまですれば良いという「**基準**」がない

行 政⇒ 全体の合意(議会の了解、法令)

企 業⇒ 経営者の自由な判断。だけど、**損は……**

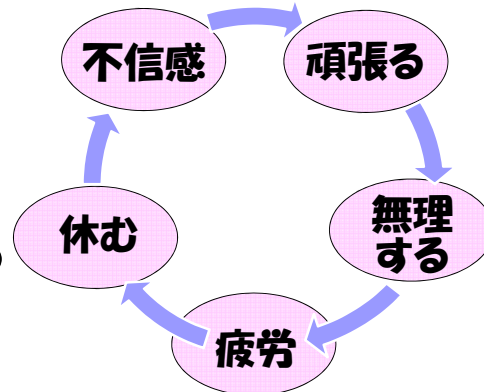
市民活動⇒ 周囲の理解がなくとも
一銭の得にならなくても、**やる時は○○**



(1)「基準がない」がゆえの「しんどさ」

★**頑張る人ほど…
疲れてしまう！**

『**疲労と不信の悪循環**』
(早瀬 昇)
『**自発性パラドックス**』
(金子都容)
『**惜しみなく愛は奪ふ**』
(有島武郎)



(2)「疲労と不信の悪循環」対策は？

★**では、
対策は？**



2. NPO・市民活動に特有の「自立観」

(1) 自立 = Independence (依存しない) …?

障害者の生き方の中で鍛えられてきた
新しい「自立」のスタイル

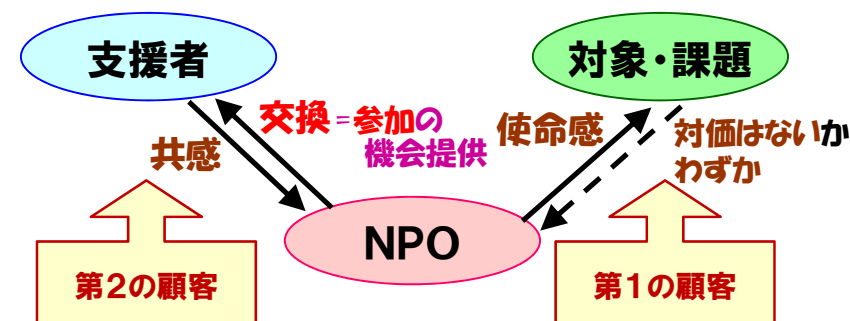
- ・他者の“世話”にならないこと
- ↓
- ・精神的な自立の保持: 自立 = 自主・自律
- ↓
- 自己決定権: 自分らしさをもって生きること
- ↓
- ・NPOの「自立」: 他者に意思決定を縛られない
ボランティア、寄付などは「依存」ではなく「協働」

(2) NPOの「2つの顧客」



(P.ドラッカー
『非営利組織の
経営』から)

NPOには支援者に提供できるものがある



(3) 支援者に提供できるものは…

→ NPOへの共感を高め、「参加」の機会を提供

① 自らの活動のもつ“支援者向けの商品性”を点検

- ・有効な(信用のおける・託したくなる)寄付先
 - 信頼性を高めるガバナンス、魅力的な解決策の提示
- ・ボランティア活動希望者の「参加」の受け皿
 - 高いボランティアコーディネーション力
- ・「総会」- “形式的”と考えるか、“参加の場”と考えるか

② 「寄付・支援の依頼」とは、 「請う」ことではなく、 斬新な課題解決プロジェクトへの「参加」提案と考える

3. 弱点克服のための発想法

(1) いわゆる「協働」は英語で…

Collaboration



Co(共に) + labor(働く)

Partnership



※それぞれ、部分partだ(自分たちだけでは、完璧にできるわけではない)と弱みを認め合う(鍵は信頼感)

補い合うことで、より高いレベルを実現する

3. 弱点克服のための発想法

(2) 孤軍奮闘を脱し、仲間を どう広げるか

熱心なグループほど「仲間割れ」をしやすい！

・「仲間割れ」をしない2つのパターン



- ・あまり熱心ではない
- ・強力なドン(尊氏・グル)がいる



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



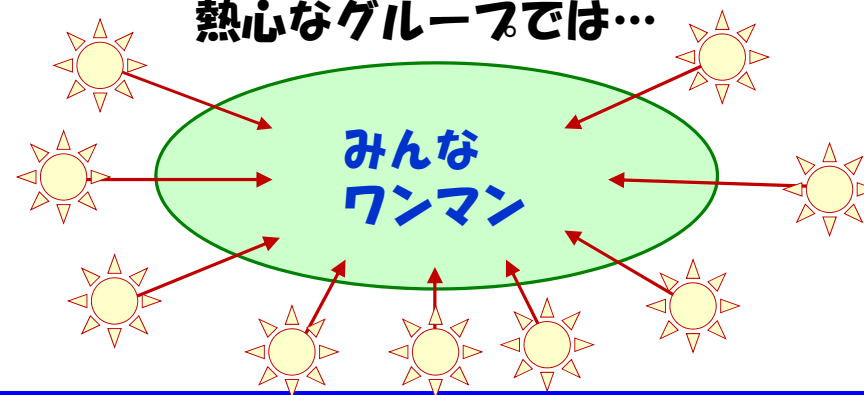
社会福祉法人
大阪ボランティア協会

61

3. 弱点克服のための発想法

(2) 孤軍奮闘を脱し、仲間を どう広げるか

熱心なグループでは…



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

62

3. 弱点克服のための発想法

(2) 孤軍奮闘を脱し、仲間を どう広げるか

かつての組織論だと…

一致団結！

「敵」に立ち向かうには有効
だけど…



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

63

3. 弱点克服のための発想法

(2) 孤軍奮闘を脱し、仲間を どう広げるか

元気なネットワークづくりの秘訣は…

※ そもそも「ネットワーク」は
組織ではありません。「面識」です
正しさを切り捨てず、
あれもこれも(複数並立、歓迎を！)

和して、同ぜず ← 論語にある
「孔子」の言葉。



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

64

【事例】ボランティアに活動する地縁組織①

※合意形成を前提としない会議で「気づき」

榎本地域活動協議会(大阪市)

- ・スローガン＝「えのもと地域は毎日がお祭り」
- ・えのもと井戸端会議「あいよ」で、街の人々のあれこれを、自由に情報交換。新たな地域活動の起点に。
- ・2004年、「榎本地区安全なまちづくり推進委員会」発足。05年、大阪市内で初めて「青色防犯パトロール隊」を発足。その後、活動を広げる中、2012年にはNPO法人化。以前から開かれていた「大運動会」のほか、「音楽サロン」「寄席」「子育てサロン」「ふれあいまつり」…などを多彩に開催。

※合意形成を前提としない会議で「気づき」

- ・毎月第4火曜 午後7時から地域の福祉会館で開催。
- ①出席したい人が出席したときに、②議題をみんなで持ち寄る
- ③合意形成を目的としない…が特徴
- ・地域コミュニティに興味のある人、地域のあんなこと、こんなこと知りたい人、知らせたい人…に参加を呼びかけ。会議の様子はTwitterで実況中継。



4. 対等な(COORDINATE)協働に向けて

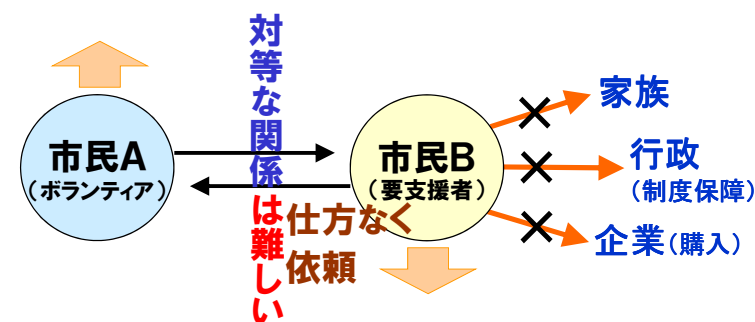
(1) 助け合いの「壁」～震災時の「御用聞き」でも…

✖ 何かすること、ありませんか？
May I help you?

○ どなたか、困っておられる方、
ご存じありませんか？
教えてくださいませんか？
Do you teach me ... ?

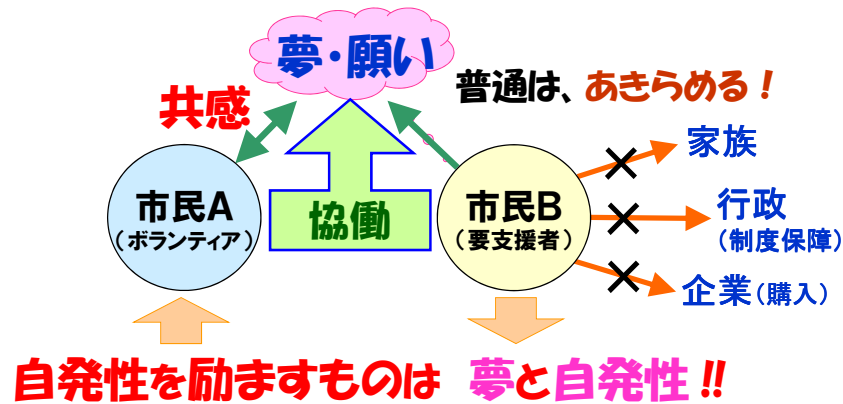
(2) 依頼する側が弱くないがちな助け合い

～依頼者とボランティアの関係を見つめ直すと…



(3) 対等な助け合いの鍵は“夢”と“共感”

～ 豊かな協働関係に向けて …



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

69

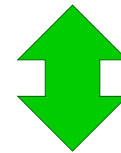
(3) 対等な助け合いの鍵は“夢”と“共感”

～ 豊かな協働関係に向けて …

皆さんの人間観、社会観が問われる

あるべき
状態

←「夢」の設定、実現可能な「目標」達成が鍵
(経過的には、段階ごとの中期目標を設定)



現 状

問題/課題
= 現状とあるべき状態
とのギャップ

解決(事業・資金)
= ギャップを
埋めること

「問題」には、トラブルや困ったことなど
狭い意味に留まらず、達成すべき課題
や創造的課題(ゴール)までを含む



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

70

※「夢」への共感が広がると、こんなことが!

※大阪北部地震で被災した
一人親家庭児向け塾は…



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

71

※ 一人親家庭児の塾再建に1,547万円超 ～大阪・高槻の『渡塾』に寄付

大阪北部地震で被災した一人親家庭児のための塾再建
費用とクラウドファンディングの経費1,160万円を目標に
寄付募集。

期限内に目標に達しなかったら、途中で寄せられた寄付が
1円も受け取れない「All or Nothing型」で、目標達成が
危ぶまれたが、終了直前に多くの賛同が集まり、671人から
1,547万2,672円の寄付が集まる!!

塾の再建に加え、塾に通う子どもたちに「この社会は、困難
に直面する人を支えようとする人々がいる!!」と、社会を
信じられる体験を得た点でも、大きな意味があります。



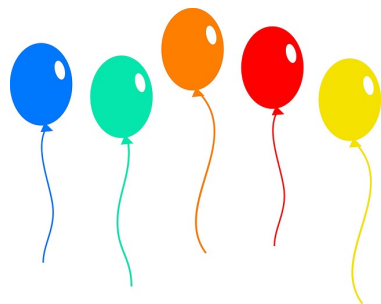
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

72

6. 内側から「やる気」が高まるために



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

73

※「モチベーション3.0」 Drive The Surprising Truth about What Motivates Us

コンピューター同様、社会にも人を動かすための基本ソフト(OS)がある。



ダニエル・ピンク

「モチベーション 1.0」

⇒生存(サバイバル)を目的とする人類最初のOS

「モチベーション 2.0」

⇒アメとムチ=信賞必罰に基づく、与えられた動機づけ(外発的動機付け)によるOS。ルーチンワーク中心の時代には有効だったが、21世紀を迎えて機能不全に陥る。

「モチベーション 3.0」

⇒自分の内面から湧き出る「やる気!」(ドライブ)に基づくOS。活気ある社会や組織を作るための新しい「やる気!」の基本形。



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

74

※ アメとムチの致命的な7つの欠陥

～目先の報奨プランや成果主義は有害な場合も

1. 内発的動機付けを失わせる: アンダーマイニング効果
2. かって成果が上がらなくなる: ソーヤー効果(報酬が遊び(しなくても良いのにする)を仕事(しなくては行けないからする)に変える)が生じる
3. 創造性をむしばむ: 報酬は焦点を狭める(右脳を抑制してしまう)
4. 好ましい言動への意欲を失わせる: 金銭的報酬が利他的な行動を抑え、善行を積みみたいという自発的欲求を阻む
5. ごまかし・近道・反倫理的行動を助長(罰金制の負の側面)
6. 依存性がある: 報酬がなければ行動しなくなり、より高額な報酬を求める
7. 短絡的志向を助長する: 短期的成果で良しとしてしまう



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

75

※ 内発的な「意欲」が高まる3つの鍵

(1)「自律性」を高める

・自己決定: 自ら選択・企画する。「駒になるより指し手になる」

(2)「熟達」できる状況を作り出す

・達成感・有能感: 困難を克服し、うまく成し遂げられる

・成長感: 成長欲求を満たす。活動を通じて一皮むけた感覚
新たな出会い……を得られる状況を作り出す!!

(3)大きな「目的」につなされる環境を作る

・有用感: 社会的に意味のある活動を、より自分らしく、
自分の強みを活かして行動できている



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association

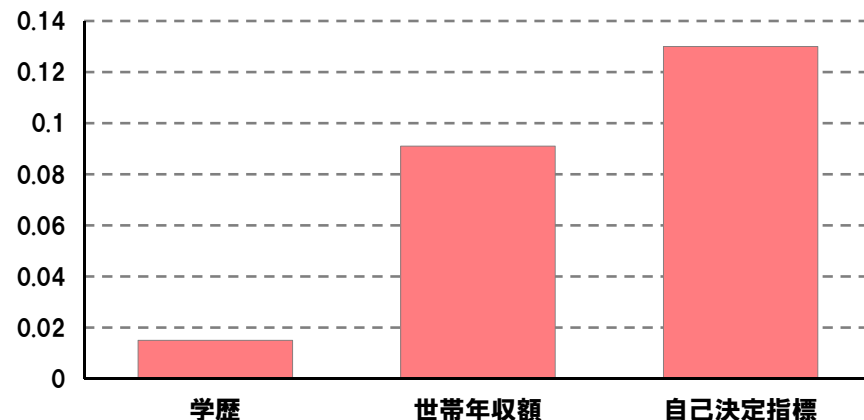


社会福祉法人
大阪ボランティア協会

76

※ 自ら選ぶことの重要性

主観的幸福感を決定する要因の重要度(標準化係数)



(出典)幸福感和自己決定—日本における実証研究(西村和雄、八木匡。経済産業研究所、2018)

(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら選択・企画できる!

- ① メンバーみんなの力(参加の力)を信じる!
～Motivation2.0 自由を与えると人は怠ける
～Motivation3.0 人は本来、責任を果たしたいと望んでいる
- ② メンバーに任せる!
・メンバーに“選ぶ/企画する”機会を保障する。
・小チーム化で個々の裁量権拡大する。
・最初は、参加するプロジェクトを小さくする(有期など)

[事例] ボランタリーに活動する地縁組織②

※「小チーム」の並立で活動意欲を向上

夢未来くんま(静岡県浜松市天竜区)

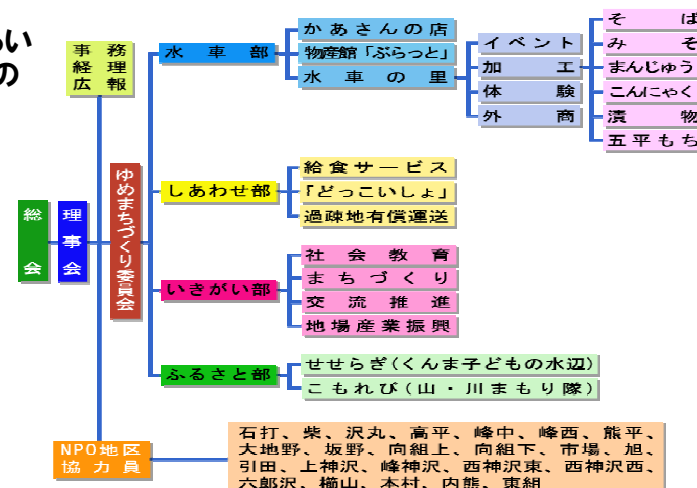
・地区内全戸加入のNPO法人設立

- ・1955年の人口2512人をピークに減少し1000人を下回って婦人会、青年団、消防団等が弱体化
- ・危機感から、86年に地区内全戸加入の「熊地区活性化推進協議会」を組織し、村おこし活動を進める。
- ・2000年、「夢未来くんま」としてNPO法人化。



※「小チーム」の並立で活動意欲を向上

「夢みらいくんま」の組織図

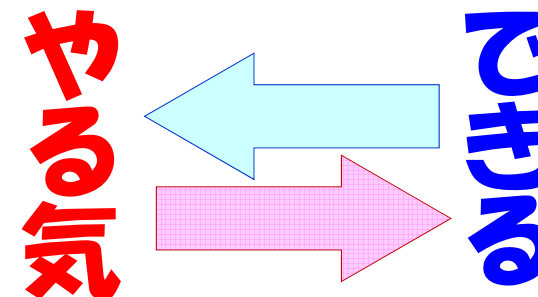


(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら**選択・企画**できる！

- ③ 価値観(こだわり)/ビジョン(目標)を**共同で策定し共有**する！(ここでも、企画段階から参加の機会を)
- ④ 活動の背景、環境、意味の**情報**を共有！
- ⑤ 企画を練る場の雰囲気を開放的に！
 - ・「**心理的安全性**」が守られる活動環境を作る
～松下幸之助「リーダーの条件は**愛嬌**があること」
 - ・職員のコーディネート力も問われる



(2)「熟達」できる状況を作り出す



- ・ **達成できた実績を共有**し合うこと！
- ・ **少し難しい(ちょっと危ない)目標設定**がカギ



(3)大きな「目的」につながれる環境を作る

「意味」を求める病い

「わたし」のこの存在は他者からの承認にかかっている／特定のだれかにとってじぶんの存在がどのような**意味**をもって
いるか、その確認がひとの存在を支える
(『しんがいの思想』から)



鷺田清一氏

【意味づけ】が分かると
主体性・自発性が喚起され、
個性を活かした創造が誘発される



ここで、質問！

- Q1. 大きなイベントの実施にあたり、ボランティアを募集した際、イベントに直接かかわれない**会場の案内役を担うボランティア**に対して、どのような配慮(対応・声掛け)が必要でしょうか？
- Q2. ある地域の高齢者大学校で学生の皆さんが地域の草刈り活動をする際、**ある内容の事前学習**をすると俄然、学生さんの皆さんの活動意欲が高まるそうです。
どのような事前学習をするのでしょうか？



※「NP03.0」(JFRA・鶴尾雅隆氏)に向けて

NP0 0.0 組織としての体をなしていない

NP0 1.0 **きっちり**と事業し運営している

NP0 2.0 寄付集めやボランティアの**参加**を得て事業を進めている

NP0 3.0 ボランティアや支援者などNP0に関わっている人々が**自発的・誘発的に改革や創造**を始める
“**誘発的創造**”が起こる

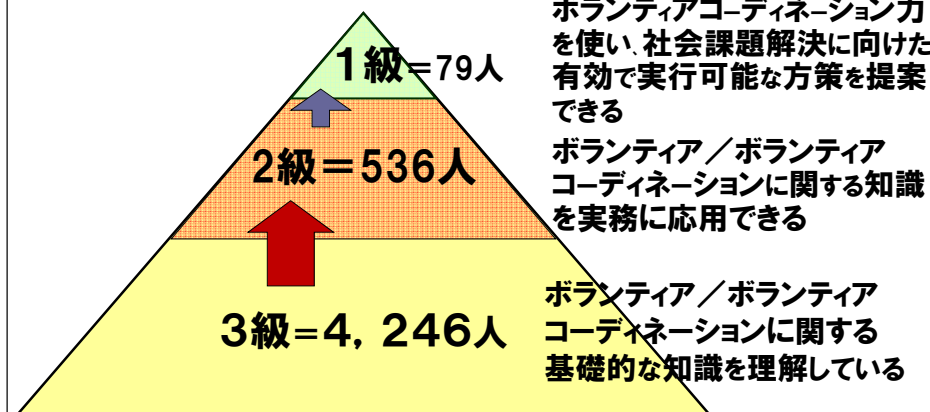


特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 85

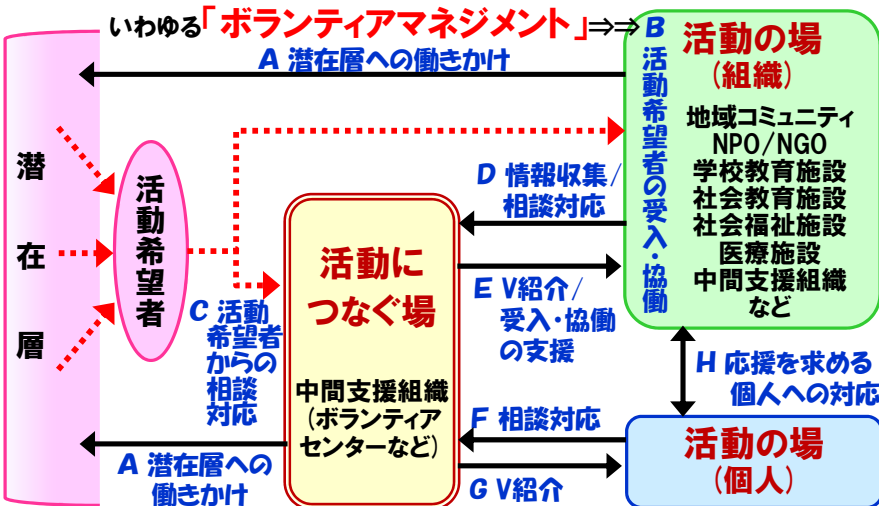
(1)「ボランティアコーディネーション力検定システム」の全体像



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association

86

※ ボランティアコーディネーションの全体像



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 87

ボランティアマネジメントの流れ

